

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 トラベルジャーナル学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	ブライダル科 (2年制)	夜・通信	840 時間	80×2= 160 時間	
	ブライダル科 (2年制)	夜・通信	270 時間	45×2= 90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手（該当部分のコピー）を可とする。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京ブライダル専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手（該当部分のコピー）を可とする。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2018年6月1日～ 2020年5月31日	組織運営体制へチ ェック機能
非常勤	株式会社役員	2018年6月1日～ 2020年5月31日	組織運営体制へチ ェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京プライダル専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム・授業計画書(シラバス)の作成および評価までの流れについて</p> <p>(1) 該当業界のトレンド、ニーズを把握した上で教育コンセプトを構築し、カリキュラムを作成する。</p> <p>(2) 「学ぶ目的」と「具体的な到達目標」を設定し、「評価観」の共通認識を行う。</p> <p>(3) 到達目標を設定し、評価方法を決定する。</p> <p>(4) 到達目標と評価方法をリンクさせ、授業計画書(シラバス)を作成する。</p> <p>(5) 試験を作成し、実施する。</p> <p>(6) 学期終了後、試験結果と評価基準を照合し評価を出す。</p> <p>※授業計画書の公表は、前期3月、後期8月の予定</p>	
授業計画書の公表方法	<p>刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手(該当部分のコピー)を可とする。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の方法・基準について</p> <p>(1) 授業計画書(シラバス)に評価方法、評価基準を記載している。</p> <p>(2) 評価方法は実技試験、筆記試験、その他(課題等)などにより行う。</p> <p>(3) 評価はA、B、C、D、Rの5種類。評価基準は基本、80点以上でA評価、70点以上でB評価、60点以上でC評価となり、認定として、単位を与える。59点以下または試験を受験しなかった場合はD評価となり、不認定として単位を与えない。またR評価とは、ホームルーム、企業実習、各行事など、成績評価テストの実施が困難な場合や内定実習で成績評価を受けることができない場合、または補習を受講し合格した場合の評価基準である。評価対象の課題提出などにより、包括的に評価する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>2019年度より成績評価に下記の通りGPAを取り入れる。</p> <p>〈成績の客観的指数について〉</p> <p>(1) GPAにより客観的な指標を設定し、算出方法は(2)の通りである。</p> <p>(2) 5種類の評価のポイントは、A=3、B=2、C=1、D=0、R=2とし、合算したものがGP合計値となる。そのGP合計値を履修した科目数で割ったものがGPA値となる。</p> <p>※GPAは学期ごとに算出し、全体の成績評価を行う。</p> <p>〈成績評価の使用について〉</p> <p>算出した成績評価は前期10月・後期3月に、各学生本人に通知する。</p> <p>GPA算出後は、学科における全体評価を行い、成績下位者に対し補習を実施する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手(該当部分のコピー)を可とする。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定について</p> <p>以下①～③のすべての基準を満たし、2年次の卒業判定会議で承認されること。</p> <p>①出席した授業時間数が2年次末までの総授業時間数の80%以上</p> <p>②修得した単位数が2年次末までの総単位数の80%以上</p> <p>③所定の学費を完納していること</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手(該当部分のコピー)を可とする。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京ブライダル専門学校
設置者名	学校法人トラベルジャーナル学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手（該当部分のコピー）を可とする。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	ブライダル科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1742 <u>単位時間</u> / 単位	990 単位時間	単位時間 / 単位	120 単位時間	単位時間 / 単位	570 単位時間
		1680 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		228人	0人	10人	17人	27人	

※生徒実員数には、休学者5名を含む

※教員数は東京ブライダル専門学校の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>様式2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
113人 (100%)	2人 (1.7%)	103人 (91.2%)	8人 (7.1%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ブライダル業界（ベストアニバーサリー、アニヴェルセル、ベストブライダル等）、ホテル業界（パレスホテル、星野リゾート、ミリアルリゾートホテルズ等）、</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>メイクセラピー検定、色彩活用パーソナルカラー検定、手話技能検定、AFS 認定フラワースタ일리スト検定、ブライダルコーディネーター技能検定</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
238人 ※休学者10名を含む	17人	7.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任による個人面談を年4回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	文化教養 専門課程	ブライダル科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	940 <u>単位時間</u> /単位	810 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	90 単位時間
			900 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	40人	0人	10人	17人	27人		

※生徒実員数には、休学者1名を含む

※教員数は東京ブライダル専門学校の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディーターチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	29人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界（ベストアニバーサリー、アニヴェルセル、ベストブライダル等）、ホテル業界（パレスホテル、星野リゾート、ミリアルリゾートホテルズ等）、			
（就職指導内容） 就職対策授業、エントリーシート添削、校内企業説明会の実施、面接練習、企業実習			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) メイクセラピー検定、色彩活用パーソナルカラー検定、手話技能検定、AFS 認定フラワースタylist検定、ブライダルコーディネーター技能検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	6 人	11.3%
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個人面談を年4回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を社内に開示し、出席率の悪い学生を担当会議で共有するとともに、担任・パディーターチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
昼間部 ブライダル科	0 円	1,296,000 円	302,000 円	
夜間部 ブライダル科	0 円	648,000 円	151,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手(該当部分のコピー)を可とする。		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 本校の専門分野に関する企業、団体との連携体制を確保し、学校が主体的に運営する委員会として教育課程編成委員会を位置づけている。理事長直轄の委員会において、教務部が提案する教育課程編成案について審議を行い、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行っている。授業科目新規開設、授業内容や教育手法の改善、学修成果目標や評価方法の検討など教育の質、教職員の質向上を図ることを目的としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体 役員	平成30年7月1日～ 令和元年6月30日	業界団体
業界関連企業 社員	平成30年7月1日～ 令和元年6月30日	企業
業界関連企業 社員	平成30年7月1日～ 令和元年6月30日	企業
業界関連企業 社員	平成30年7月1日～ 令和元年6月30日	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手(該当部分のコピー)を可とする。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
刊行物「高等教育無償化制度に係る情報公開資料」として学校事務局にて閲覧および入手
(該当部分のコピー)を可とする。